

生涯教育セミナーシラバス

科目名	診療報酬概論	科目区分	時間	回数
担当講師	初山 貴	初級	60分	--

講義概要
<p>医療機関は、専門職種が役割分担によって医療サービスを提供する労働集約型産業である。医療機関の収入は、これらの医療サービスの対価を診療報酬によって担保され、収入の大半を占めていることから、どの職種であろうと、収入源である診療報酬の学習は欠かせない。</p> <p>また、診療情報管理士は、診療情報を管理する立場から、医師等から発生する診療情報がどのように診療報酬点数表に定める診療行為に変換され、請求されるのかを理解する必要がある。</p> <p>本科目は、記載された診療記録（伝票・オーダーリングシステムを含む）からレセプトが作成されるまでの関連性を診療区分ごとに診療情報管理士の視点から学習する。</p>

講義の目標
<ul style="list-style-type: none">・診療報酬制度の概略が理解できる・DPCコーディングや疾病登録業務に必要な医事データの見方が理解できる・保険診療録に記載が必要な情報が何かを理解できる

講義内容
1.診療報酬とは
2.医療行為からレセプトが作成されるまで
3.診療記録（伝票・オーダーリングシステムを含む）とレセプトの関係について（診療区分ごと）
4.保険診療録と診療報酬について
5.D P C 点数表・診療報酬点数表と診療記録の関係について
6.レセプトデータの利活用

生涯教育セミナーシラバス

科目名	DPC概論	科目区分	時間	回数
担当講師	近藤 保	初級	60分	--

講義概要

DPCは、診療報酬の支払い方式としてクローズアップされているが、本来の目的は医療情報の標準化と透明化にある。

本單元では、DPC制度の全容を把握するとともに、標準化された情報がどのように活用されているのかを学ぶことにより、DPC制度の目的について正しく理解することを目的とする。

講義の目標

- ・DPC制度の成り立ちについて理解できる
- ・DPC/PDPSにおける診療報酬の計算方法が理解できる
- ・我が国におけるDPCデータの活用事例について理解できる

講義内容

- 1.DPC制度ができるまで（他国の包括支払い制度、日本版DRG）
- 2.DPC制度の概要
- 3.定義テーブルとツリー図について（対応コードとフラグの意味、CCP Matrix）
- 4.DPC制度における診療報酬の計算方法
- 5.係数について
- 6.DPCデータの活用事例について（行政・医療機関）